

学習指導要領等の構造化のイメージ（仮案・調整中）

下記のような構造をイメージしながら、各教科等の意義や教科・科目等の構成、各教科・科目等の内容を見直す必要があるのではないか。その際、教える側の視点だけでなく学習する側の視点にも立ち、学習プロセスの在り方や身に付ける資質・能力等について整理していく必要があるのではないか。

人格の完成を目指し、平和で民主的な
 国家及び社会の形成者として必要な資
 質の育成を期す

教科横断的・総合的に育成すべきさまざまな資質・能力

↑
 教科等間の往還
 (カリキュラム・マネジメント)
 ↓

個別の知識や技能
 (何を知っているか、
 何ができるか)

思考力・判断力・表現力等
 教科等の本質に根ざした見方や考え方等
 (知っていること・できることをどう使う
 か)

学びに向かう力、人間性等
 情意、態度等に関わるもの
 (どのように社会・世界と関わり
 よりよい人生を送るか)

教科学習

各教科に固有の知識や
 個別のスキル

各教科の本質に根ざした問題解決
 の
 能力、学び方やものの考え方

各教科を通じて育まれる情意、
 態度等

総合的な学習

(各学校で設定)

横断的・総合的な問題解決の能力

実社会における横断的・総合的な
 問題解決に取り組む態度

特別活動

集団の運営に関する方法や
 基本的な生活習慣等

よりよい集団の生活や
 自己の生活習慣等を形成していく
 能力

自己の役割や責任を果たす態度等

道徳教育

道徳的価値

道徳的判断力

道徳的心情、

道徳的実践意欲と態度

○幼児教育においては、主体的な活動である遊びを通じて総合的に指導。

小・中・高を通じて外国語教育において育成すべき資質・能力の整理（たたき台）

個別の知識や技能
 (何を知っているか、何ができるか)

思考力・判断力・表現力等
 教科等の本質に根ざした見方や考え方等
 (知っていること・できることをどう使うか)

学びに向かう力、人間性等
 情意、態度等に関わるもの
 (どのように社会・世界と関わり
 よりよい人生を送るか)

外国語活動
 小学校

外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること
 積極的に外国語を聞いたり、話したりすること
 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること

簡単な語句や表現を使って、自分のことや身の回りのことについて、積極的に友達に質問したり質問に答えたりする能力

外国語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさや言語を用いてコミュニケーションを図る大切さを知り、相手意識を持って外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度など

外国語
 小学校

聞くことに関する知識・技能
 話すことに関する知識・技能
 積極的に外国語を読んだり、書いたりすること
 文字を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること

馴染みのある定型表現を使って、自分の好きなものや、一日の生活などについて、友達に質問したり質問に答えたりする能力

外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度など

外国語
 中学校

聞くことに関する知識・技能
 話すことに関する知識・技能
 読むことに関する知識・技能
 書くことに関する知識・技能

○具体的で身近な話題について、学校、地域、他教科等での学習内容等と関連付けて、互いの考えや気持ちなどを英語で伝え合う能力
 ○聞いたり読んだりしたことを活用して話したり書いたりして発信する能力

他者を尊重し、聞き手・話し手・読み手・書き手に配慮しながら、外国語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度など

外国語
 高等学校

聞くことに関する知識・技能
 話すことに関する知識・技能
 読むことに関する知識・技能
 書くことに関する知識・技能

○日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝え合ったりする能力
 ○聞いたり読んだりしたことを活用して話したり書いたりして発信する能力

他者を尊重し、聞き手・話し手・読み手・書き手に配慮しながら、外国語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度など

言語力の育成方策について（報告書案）（平成19年8月16日言語力育成協力者会議配付資料）

（1）言語の果たす役割

- ①知的活動（特に思考や論理）の基盤、②感性・情緒の基盤、③他者とのコミュニケーション（対話や議論）の基盤

（2）指導の充実

◆言語力の育成については、国語科を中核としつつ、すべての教科等での言語の運用を通じて、論理的思考力をはじめとした種々の能力を育成するための道筋を明確にしていくことが必要。

①知的活動に関すること

- ・事実を正確に理解し、他者に的確に分かりやすく伝える技能を伸ばすこと
- ・自らの考えを深めることで、解釈や説明、評価や論述をする力を伸ばすこと
- ・考えを伝え合うことで、自らの考えや集団の考えを発展させる力を伸ばすこと

②感性・情緒等に関すること

- ・感性や情緒は、他者との人間関係の中で育まれていくものであり、美しい言葉や心のこもった言葉の交流は、人間関係を豊かなものに高めていくものであること

③他者とのコミュニケーションに関すること

- ・個々人が他者との対話を通して考えを明確にし、自己を表現し、他者を理解するなど、お互いの考えを深めていくことが人々の共同生活を豊かなものにすること

◆発達の段階が上がるにつれて、具体と抽象、感覚と論理、事実と意見、基礎と応用、習得と活用と探究などについて認識や実践ができる水準が変化。それに応じて、指導内容や言語活動の特色付けをしていく必要がある。



次期学習指導要領において外国語教育を通じて求められる資質・能力の改善（イメージ）

学習指導要領において、③言語の果たす役割として他者とのコミュニケーション（対話や議論）の基盤を形成する観点を重視しつつ、上記①、②の観点から、求められる資質・能力の明確化を図ることを通じて外国語教育を改善・充実

- ・・・積極的に友達に質問することや質問に答えたりする能力（小学校）
- ・・・互いの考えや気持ちなどを英語で伝え合う能力（中学校）
- ・・・幅広い話題について、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝え合ったりする能力（高等学校）
- ・・・相手意識を持って外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度（小学校）
- ・・・他者を尊重し、聞き手・話し手・読み手・書き手に配慮しながら、外国語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度（中学校・高等学校）

思考力
判断力
表現力
等

学びに
向かう力、
人間性等

資質・能力を育成する学びのプロセスの要素イメージ

他者への働きかけ、他者との協働
外部との相互作用

目的に応じた
コミュニケーションのプロ
セス

目的の理解・設定

目的に応じた
発信までの方向性の決定

目的達成のための言語活動
(技能統合型)

内容・言語両面
におけるまとめ
と振り返り

次のコミュニケーションにおける
目的の設定・
活動へ

※必ずしも一方通行の流れではない

意見や考えの形成

思考

判断

表現

プロセスの中で働く思考・判断・表現等のうち、特に重視すべきものの例

複数の技能を統合した活動

情報の抽出

抽出した情報に基づく
目的の理解

関連する
知識や
情報の
検索

課題について得
られた知識や情
報を整理・統合

知識や情報を活用
して自分の意見や
考えを形成・整理

意見や考え
の吟味と
フィード
バック

目的に応じて
伝え合うこと
を通じた思考

多様な見方や
考え方等の思
考

必要な情報
の把握

目的の明確化

目的達成に必要な
情報の選択

様々な見方・考え方
の共通点・相違点等
の評価・選択・決定

自分の考えや主張を適切な語彙・表現・
文法を用いて効果的に伝えることの
意思決定

情報間の
関係性構成

目的に関する論点・
解決策の整理

流暢さと正確さのバランス

インタラクションによる
表現・思考

「話すこと」及び「書くこと」による言語活動（図表等による表現も含む）

聞くこと

読むこと

話すこと

書くこと

語彙・表現・文法

技能統合型の活動を通じた英語による思考力・判断力・表現力を育成

※2技能以上を効果的に組み合わせて統合的に活用（聞いたり読んだりして得た情報について、その概要や要点を的確に把握し、自分の意見や考えなどとの共通点や相違点などを示しながら論理的・批判的に話したり書いたりして表現する力）

「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能をバランス良く総合的に育成するとともに、複数の領域を統合的に活用し、情報や考えなどを的確に理解したり、目的に応じたコミュニケーションのプロセスを通じて適切に伝えたりする思考力，判断力，表現力。

(例)

〈「聞くこと」の領域〉

- まとまりのある英文、比較的長い対話文、スピーチ、プレゼンテーション、講義などを聞き、複数の情報を整理するなど思考・判断して、必要な情報を得たり概要や要点を把握したりする力。

〈「読むこと」の領域〉

- まとまりのある英文、比較的長い対話文、英語で書かれた図表などを読み、複数の情報を整理・統合するなど思考・判断して、必要な情報を得たり概要や要点を把握したりする力。

〈「話すこと」の領域〉

- 多様な考え方ができる話題や時事問題・社会問題などについて話して説明するとともに、自分の意見や考えなどをまとめ、適切な語彙・表現・文法を用いて論理的・批判的に話して伝える力。

〈「書くこと」の領域〉

- 多様な考え方ができる話題や時事問題・社会問題などについて、自分の意見や考えなどをまとめ論点や根拠を明確にしながら、適切な語彙・表現・文法を用いて論理的・批判的に書いて伝える力。

〈技能統合の領域〉（4技能のうち2技能以上を統合的に活用）

- 聞いたり読んだりして得た情報（英文や図表など）について、その概要や要点を的確に把握するとともに、自分の意見や考えなどとの共通点や相違点などを示しながら、論理的・批判的に話したり書いたりして表現する力。